

日本共産党
すみだ区議団ニュース
 第513号
 発行 日本共産党墨田区議会議員団
 発行責任者・はら つとむ / 編集責任者・としま剛
 発行所 墨田区吾妻橋1-23-20 ☎直通5608-6326
 墨田区役所16階 日本共産党区議会控室

ワクチン接種は5月10日から、ヘルパーのPCR検査が実現

墨田区議会定例会2月議会は、2月5日から3月30日までの日程で開かれました。区民福祉委員会は3月23日に開かれ、ワクチン接種について、概要が報告されました。

集団接種会場は、区役所を含む4会場で、個別接種会場は「基本接種施設」17医療機関がカバーをするとしています。その後、ワクチンの種類が増えていく段階でさらにサテライト型接種施設を設置していきます。基本1施設につき3から5か所となります。日本共産党は、身近な診療所でも接種ができるようにと求めてきました。6000人が対象です。

30日の区民福祉委員会で、補正予算で訪問介護職員（ヘルパー）へのPCR検査費用が計上されました。103施設設

墨田区コロナワクチン接種会場

- (集団接種)★(基本型接種施設)
- サテライト施設は各★基本施設につき3~5か所設置されます



3月23日現在

10月から精神障害に福祉手当が対象に

心身障害者福祉手当条例が改正され、心身障害者福祉手当（区の制度）の障害要件に、精神障害1級が新たに追加されました。金額は月額7,750円で、10月から受付が開始されます。（10月分は11月分と一緒に振り込まれます）この手当は、対象者（約130人）への個別のお知らせなどは予定されていないため、各自書類を取り寄せての手続きが必要です。ご注意ください。

新型コロナ関係の相談窓口

■墨田区コロナワクチン接種問い合わせダイヤル

電話 03-6734-0307

受付／午前8時半から午後5時15分
土・日・祝日含む

日本語、えいご、ちゅうごくご、かんこくごでの相談が可能です。

対応内容 接種券の再発行 接種会場の案内 集団接種会場と2次救急病院の予約・キャンセルの受付 その他接種に関するお問い合わせ

■受診相談(該当する症状のある方)

- ・東京都発熱相談センター

電話 03-5320-4592

受付／24時間対応 土・日・祝日含む

- ・墨田区発熱・コロナ相談センター（旧墨田区帰国者・接触者電話相談センター）

電話 03-5608-1443

受付／平日の午前9時から午後5時まで（祝日は除く）

■墨田区後遺症相談センター

電話 03-5608-1443

受付／平日の午前9時から午後5時まで（祝日を除く）

※電話相談の際、後遺症の相談とお伝えください。新型コロナウイルスの後遺症に悩んでいる方に、後遺症に対応する区内の医療機関を紹介します。



本会議討論に立つとしま区議

「保育の民営化方針の見直し」、「核兵器禁止条約に批准・署名を求める意見書提出を求める」陳情を自民・公明などが不採択

陳情は採択すべきと 与野党区議が主張

3月30日の本会議において、陳情3本の採決が行われ、内2本の陳情について、としま区議が

均より10万円も賃金が低く、『人手不足』が深刻である。財政の効率化優

の現場では、労働者平均賃金が低く、『人手不足』が深刻である。財政の効率化優

保育や介護が見直されている。保育や介護

「核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書の提出に関する陳情」について、としま区議は「日本政府が核兵器禁止条約への参加を拒む根

本に『核抑止力』論があり、この核抑止力論は、『いざという時には、核兵器を使用しますよ。核兵器の使用もためらいま

せんよ』という立場である。しかし、被爆者を先頭とした取組みで、『広島・長崎のような惨禍を二度と繰り返してはいけない』核兵器のような非人道的な兵器は存在そのものを認めてはいけな

い」と国際社会が核抑止力論を克服し、到達したのが核兵器禁止条約。また529地方議会も国に条約への参加を求める意見書を採択している。

東京大空襲という悲惨な体験を持つ墨田区議会が、核兵器廃絶にむけて声を上げることは、政府の姿勢を変えさせるうえで重要な意義があると考え、陳情は不採択にせず、採択すべき」と述べました。

討論に立ちました。墨田区保育所等整備計画」見直しについて、としま区議は「コロナ危機のもとで、保育をはじめ、ケア労働の重要性が見直されている。保育や介護

「核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書の提出に関する陳情」について、としま区議は「日本政府が核兵器禁止条約への参加を拒む根

本に『核抑止力』論があり、この核抑止力論は、『いざという時には、核兵器を使用しますよ。核兵器の使用もためらいま

せんよ』という立場である。しかし、被爆者を先頭とした取組みで、『広島・長崎のような惨禍を二度と繰り返してはいけない』核兵器のような非人道的な兵器は存在そのものを認めてはいけな

い」と国際社会が核抑止力論を克服し、到達したのが核兵器禁止条約。また529地方議会も国に条約への参加を求める意見書を採択している。

東京大空襲という悲惨な体験を持つ墨田区議会が、核兵器廃絶にむけて声を上げることは、政府の姿勢を変えさせるうえで重要な意義があると考え、陳情は不採択にせず、採択すべき」と述べました。



▼夏のオリンピックを楽しみにしている方も多いと思いますが、世界的にコロナ感染が収まらないもので、「開催のりきで突っ走ってよいのでは」とか。日本共産党は、五輪は中止し、コロナ収束に全力集中することを求めています。▼一方で墨田区では国技館がボクシング競技会場になることから、ちばてつやさんの代表作である漫画「あしたのジョー」を使用したポスターのぼり、旗などを掲げ、大会のPRを行なっています。▼ちばてつやは、6歳のときに旧満州で敗戦を迎え、日本に引き揚げた後に墨田区立小梅小学校を卒業。小学生の頃から漫画を描き始めるなど、墨田区にゆかりの深い漫画家です。

「あしたのジョー」以外にも、『たり松太郎』や『あした天気になあれ』など、たくさんのロングヒットを生み出しています。▼ちばさんは、『自身の戦争体験を漫画作品やメッセージを通じて、積極的に発信されていることも長く知られています。墨田区では、東京大空襲があった3月に平和祈念行事を行っています。ちばてつやさんからは、毎年『平和メッセージ』が寄せられています。今年も直筆のイラストとともに『世界中が戦後』になるには、どうしたらいいのか』というメッセージが寄せられました。▼今も世界では内戦・紛争をしている国が40以上あると言われています。まさに世界中が『戦後』に、そして日本の『戦後』が永久に続くよう力を合わせる時ではないでしょうか。